

氏名	四 宮 純 二		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学 位 授 与 番 号	乙 第 1796 号		
学 位 授 与 の 日 付	昭和62年 6 月30日		
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学 位 論 文 題 目	F 波潜時評価法の検討		
論 文 審 査 委 員	教授 堀 泰雄	教授 中山 沃	教授 大田原俊輔

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

足関節部で脛骨神経を刺激して母指外転筋から得られるF波潜時（最小潜時，最大潜時，平均潜時）の診断において，臨床に必要なF波採取数について検索した。正常人調査（30～49歳）を，個人内変動（5名に7回反復測定）と個人間変動（25名）に分けて行った。40個の連続F波における最小潜時および最大潜時の出現時期あるいは採取F波数によるこれら潜時の差異について調べた。さらに採取F波数が10個の場合と20個の場合ではF波潜時の評価にどのくらい差異があるかを，インシュリン歴も自覚神経症状もない糖尿病患者27名について検索した。最小潜時や最大潜時を評価する場合のF波採取数は，10個では不十分であり，少なくとも20個が必要であった。平均潜時を評価する場合は，10個採取でよかった。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は正常人および軽症糖尿病患者においてF波の平均潜時，最小潜時および最大潜時を測定する為に必要なF波採取数を決めたもので，F波を利用した臨床診断法の理論的根拠を明らかにする上で新知見を加えたものである。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。